

援農のしおり

第4版：22-APR-2021

この「しおり」は、援農の初心者を対象に援農における初歩的な心得や知識をまとめたものです。わからないことは、先ず農家さんに聞きましょう。

まずはご自分の健康状態を確認の上、援農に参加しましょう。援農においても安全が最優先です。何かあった場合、広い畑の中では発見が遅れ救急対応も遅れがちです。体調不良を感じたら、すぐに作業を中断し周囲の方に伝えましょう。また、季節にかかわらず、熱中症予防のためにこまめに水分や塩分を取るようにしてください。健康管理は自己の責任です。安全最優先で援農をしていきましょう。

服装について

手足を動かしやすく汚れてもよい服装が基本です。怪我や虫刺され予防のため長袖、長ズボンが望ましいですが、周りを参考にされるのも良いでしょう。

- ・帽子は埃や直射日光、怪我や日焼けなどを防ぐものとして必要です。
- ・手袋は怪我や汚れを防ぐものとして、作業しやすい手に合ったものが良いでしょう。
- ・はきものは畑を荒らさず、軽くて疲れにくい地下足袋が基本ですが、雨の日用の長靴も必要です。
- ・夏も基本は同じですが、汗をかきますので通気性のよい薄地の作業着が良いでしょう。
- ・冬も基本は同じですが、寒さ対策を工夫してください。
- ・ハウス作業は内外の気温差が大きいので、着衣の着脱をこまめに行うと良いでしょう。

休憩・・慣れない作業を続けて足腰の疲れや疲労感が出て来た場合は、遠慮なく一休みしてください。休まず続けていると作業能率を落とすばかりではなく、事故や怪我につながります。夏場は大汗をかきますので、水分補給と一休みを適宜取るよう心掛けてください。

連絡・・農家の方は、皆さんが約束の日時に来られることを前提に仕事の段取りを立てており、休んだり遅れたりすると仕事の予定が狂って、迷惑をかけることになります。事情があって、約束の日時に休むとか遅れる場合には、必ず連絡をしてください。連絡が当日の場合は、援農先に直接が望ましいでしょう。

確認・・仕事の基本は「正しい手順で素早く」ですが、基本は同じでも華道や武道に沢山の流派があるように農作業でも地域や農家さんによってやり方が異なることがあります。まず、農家さんのやり方を知ることが大切です。やり直しや失敗を防ぐため「自己判断」せず、正しい作業方法の確認をしましょう。

安全・・農家さんがトラクターや刈払い機を使用している時には、絶対に近づかないでください。重大な事故に繋がる恐れがあります。鎌などの刃物、雨でぬかるんだ畑、野菜などが入った重い箱など農作業には扱いを間違えたり、注意を怠ったりすると事故や怪我に繋がる危険なものがあります。正しい扱いの確認、身の危険物の確認など、注意を怠らぬようにしましょう。

畑の中・・耕耘してフカフカになっている畑の中は、歩いてよい通路があります。通路以外を歩くと畑が踏み固められ、種を蒔いたり作物を植えつけることに不具合が出たり、作物の生育が悪くなったりします。通路の確認をして歩きましょう。

仕事中の私語・・気の合う仲間との適度なおしゃべりは気持ちをリラックスさせ、仕事の能率を高める効果もありますが、一方、長々としたおしゃべり、手を止めてのおしゃべりは仕事の能率を落とし、不快と感じる人もおられます。仕事中のむやみな私語は慎むようにしましょう。

携帯電話・・作業中は原則として使用しないようにしましょう。必要な場合はポケットなどに入れて、作業の邪魔にならないようにしましょう。